

2015 年 6 月 19 日

一般社団法人 日本自動車工業会
安全・環境技術委員会
排出ガス・燃費部会

WLTPの国内燃費試験法への導入に対する意見

【基本的考え方】

- ・ 重量車を除く、ガソリン車及びディーゼル車の排気試験法と燃費試験法は同じであるべき、と考える。
- ・ 中央環境審議会第 12 次答申にて、排気試験法として WLTP の導入が決定されたことにより、燃費試験法として WLTP が導入されることは妥当と考える。
- ・ しかしながら、既に施行されている 2015 年度、2020 年度及び 2022 年度燃費基準は、いずれも JC08 モード燃費で基準を達成することが求められており、各社の対応も進んでいることから、上記目標年度においては、JC08 モード燃費により達成の判断が行われることが基本であると考ええる。

【導入に関する意見】

- ・ WLTP と JC08 モードは、平均車速、アイドル時間比率等が異なり、今後の燃費技術の採用にも影響を与える可能性がある。車両・システム等によっては、燃費目標達成のために、その目標年度終了まで、JC08 モード燃費対応技術の採用を進めて行かざるを得ない状況にあるので、目標年度終了まで、JC08 モード燃費を主体とした諸施策の継続を要望する。

以上